

支
製
本
行
道

此木^て挺^こり支^さふる処^{ところ}と
力^{ちから}を用^{もち}ゆる処^{ところ}と両^{りょう}端^{たん}
に分^わかすその中^{なか}間^まに鍾^{かね}
あまて支^さふる処^{ところ}に近^{ちか}づ
く下^{した}の畚^{ひん}ハ皆^{みな}此^{この}理^りに
基^{もと}づけらるなり



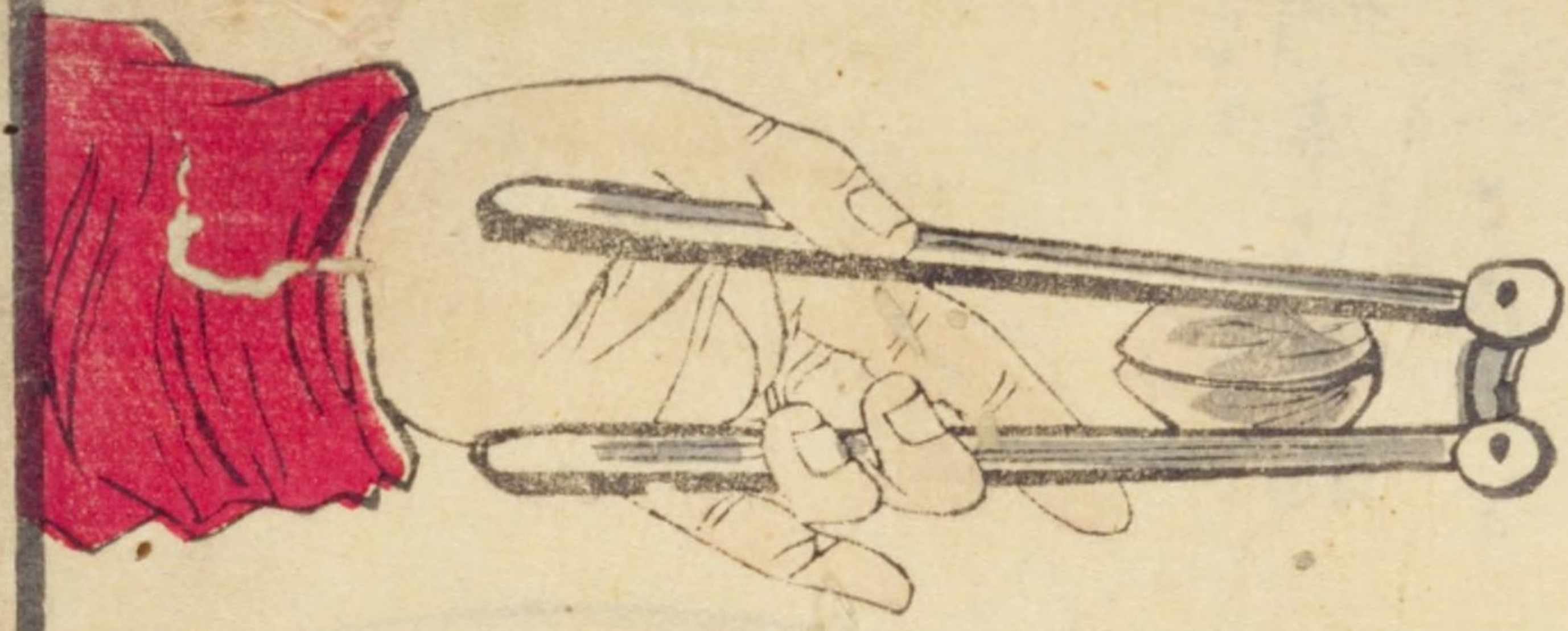
推^おま^きとら^らの木^こ挺^てを長^{なが}くし荷^に物^{ぶつ}を
輪^{りん}に近^{ちか}寄^よりて積^つむと
きハ力^{ちから}を
勞^あま^らる^ると少^すし

此^{この}戸^とハ
櫛^し紋^{もん}

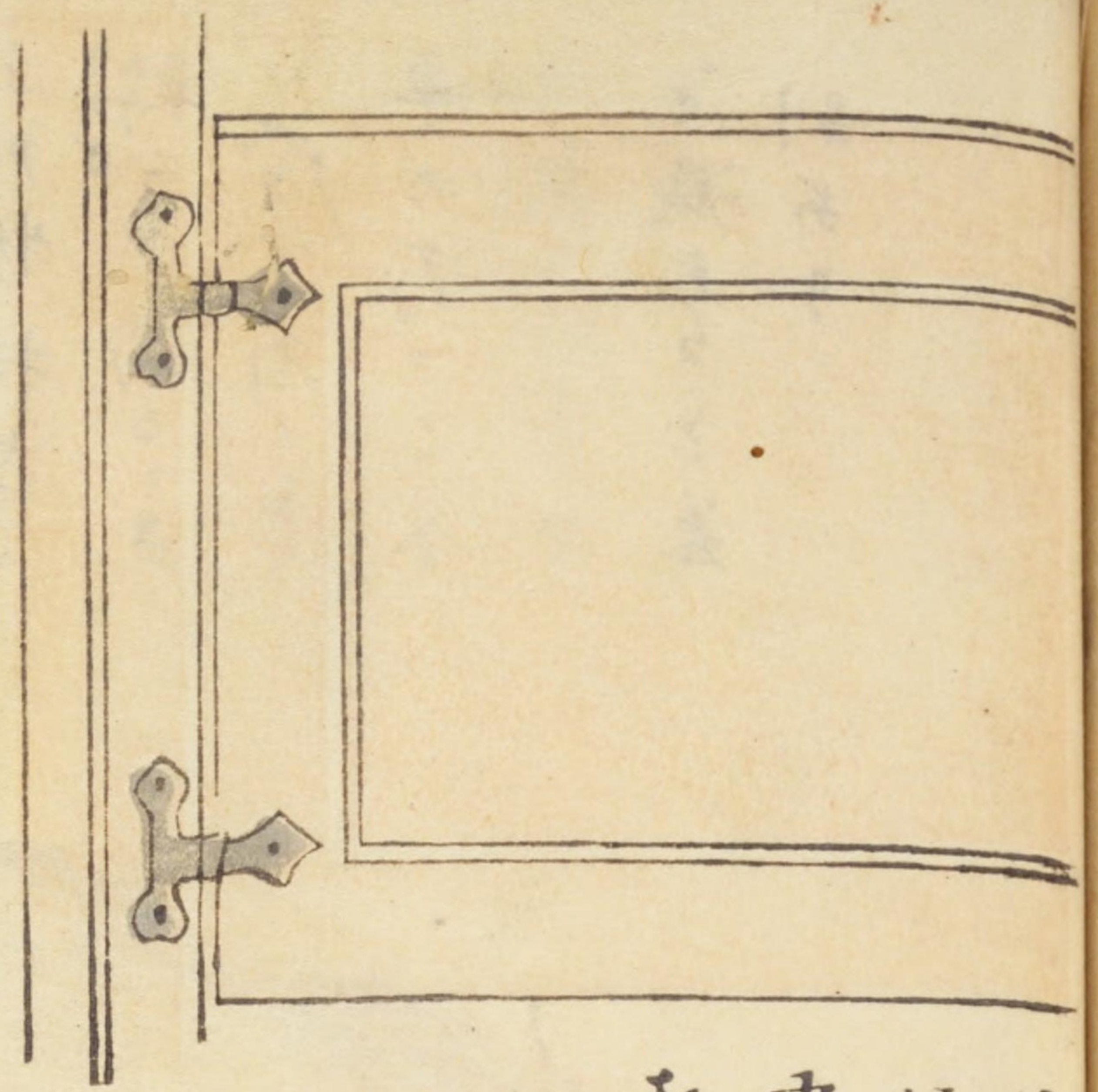


木^こ挺^てにて荷^に物^{ぶつ}を動^うもつハ挺^ての
杖^{ぼう}を長^{なが}くするに從^{したが}ひ力^{ちから}
を省^せくも多^{おほ}し





此胡椒くろみを
 刺る道具ハカ
 を用ゐる所すき
 刀と同様をま
 ども彼ハ端はしにて
 働はたらき此ハ中間ちゅうかんに
 て働はたらくあり



にて支へ手前
 に力を用ゐ
 中の重み
 を動うごかし
 あり



重物を木き杖じょうの中央ちゅうじょうにかけ之を荷かぶるときハ二人の力を用ゐる
 と等ひとし一若い一方かたに偏ひとへもま物ものに近ちかづく方かた多おほく力ちからと費たもべし

杖じょうと長ながくもる杖じょうハ
 と等ひとし一若い一方かたに偏ひとへもま物ものに近ちかづく方かた多おほく力ちからと費たもべし

教草 1冊 本別9-25 00-065

